

あらゆる危機に対応できるリスク管理体制を万全に整えます

財政危機への緊張感を取り戻す

近年の松戸市財政は、悪化の一途をたどっています。それは、本郷谷市政だけの責任ではないかもしれません。国も巨額の国債を発行し、借金を増やしながら福祉や医療を賄います。その国家予算をもとに数々の補助金事業を組み立てますが、私たち地方自治体は、国からの財政的支援を受けてその補助事業を実行します。地方交付税交付金がかつてより大幅に縮小されてしまっている現在では、補助事業なしに地方自治体の運営は成り立ちません。しかし、補助事業を行うことで、そのための市債も発行する必要も生まれることを考えると、補助事業を進めれば進めるほど財政が悪化することにつながる側面があるのです。国の方針に振り回される地方は、どんどん自主財源を取り崩し、主体性を奪われています。

とはいえ、国の責任にばかりしてはられません。市は市として、いかに財政を健全化させるか、常に最大限の努力が求められます。次年度予算案を見て、基準財政需要を見直しながら必要経費の削減を目指し、固定費を縮小することで投資的経費を増額させるという方向性に、早期に舵を切る必要性を強く感じます。



地域経済への打撃拡大も深刻

猛烈な勢いで拡大する新型コロナウイルスによる経済への影響はますます広がっています。国レベルでは、製造業や物流業に大きなダメージが現れ、稼働を停止する工場などが相次いでいることは報道の通りです。

地域にも、次第にその影響が影を落とし始めています。厚生労働省は、2月下旬、数多くの人が集まるイベントの自粛を呼びかけました。被害の拡大を防ぐ観点から言えば必要な措置でしょう。そのことによって、大小さまざまな催し物が中止になっています。松戸市では2月に設置した新型コロナウイルス対策本部において、市主催の行事は3月いっぱいはずべて中止すると発表し、4月以降も慎重に動向を探る姿勢です。常盤平地区最大のイベント・さくら祭りの開催も厳しい状況です。地方経済にも深刻なダメージがあらわれています。

各所で毎朝演説しています

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝の通勤時間帯の駅頭や街頭で、演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台など、どこかの駅でみのわ信矢をお見かけの際は、市政へのご要望やご意見など、ぜひお伝えください。市民の声が生きる議会活動をこれからも続けていきます！



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇ 中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇ 介護事業所 取締役
- ◇ NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇ 公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇ 松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆ 楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆ 学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** **検索**

連絡先 松戸市金ヶ作418-94